特定非営利活動法人 移動支援 Rera

2020 年度　事業報告書

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

≪事業報告書概要≫

0．　団体概要　……2
Ⅰ．　移動困難な住民の送迎支援活動　……4
Ⅱ．　福祉有償運送事業　……10
Ⅲ．　情報収集・調査・情報発信事業　……10
Ⅳ．　住民同士の交流・親睦事業　……10
Ⅴ．　その他の事業　……11
Ⅵ．　運営に関する報告　……11

団体概要

【特定非営利活動法人移動支援 Rera　定款第 3 条】
この法人は、移動困難な住民に対して、送迎活動等のサポート事業を行うことにより、生活する上で必要不可欠な移動手段を確保し、彼らの健全な生活の維持に寄与することを目的とする。

団体のあゆみ

2011 年	3 月 11 日	東日本大震災発災
	3 月 15 日	NPO 法人ホップ障害者地域生活支援センターが宮城県石巻市入り 被災障害者の支援を行いつつ瓦礫撤去、避難所設営、物資整理等に協力。
	4 月 8 日	現地支援活動団体名を『災害移動支援ボランティア Rera』と決定 活動内容を「移動困難な被災住民の送迎」に集中させる。
2012 年	4 月 1 日	運営主体が石巻地区の住民ボランティアに移行 行政・民間連携による『石巻地区災害移動支援連絡会』開催（～翌年 3 月）
2013 年	2 月 15 日	宮城県認証の『NPO 法人移動支援 Rera』設立 地域住民主体の団体として移動支援活動を継続。

◆活動開始から 2021 年 3 月末までのデータ

累積送迎人数（2011 年 5 月～）　……184,884 名
送迎名簿登録者数（2011 年 7 月～）　……1,704 名
車両総走行距離（計算値含む）……約 187 万 km
（地球約 49 周）
レラメイト登録者数　……416 名

移動支援 Rera の目指す社会

『移動手段を持たず外出できない住民が、送迎支援や助け合い、公共交通など、それぞれに適した方法で外出手段を得ることにより、心身の健康維持や生きがいづくりなどにつながり、健全で心豊かな生活を送ることができる社会』

2020 年度事業　背景と活動方針（2020 年度事業計画書より）

東日本大震災から 10 年目という節目の一年を迎え、「復興期間」の最後の一年となった。被災地の支援活動に不可欠であった助成金や補助金の多くがこの一年を最終年度としており、財源としても大きな変動の年になることは必須である。
スタッフ研修等の場を多く持ち今後の方向性を検討してきたが、組織としての意向は「復興期間」終了後も「日常生活の支援」として移動支援活動を継続させていくこととなっている。そのためにはこれまでに引き続き、活動を見直し持続性の高い仕組みを構築することへの取り組みが必須であることは変わらない。

また、2020 年初頭より全世界に拡散している新型コロナウイルス感染症の流行によって、人々の暮らしや経済は甚大な打撃を受けている。こういった状況下では、移動困難者のような平時から生活にさまざまな困難を抱える住民の状況はより深刻となってしまう。
こうした方々の安心・安全な生活を守るためにも、感染拡大の防止には細心の注意を払いながら、これまで以上に見守り、寄り添っていく姿勢が必要となる。

2020 年度の活動は、前年度より特に力を入れてきた「仕組みづくり」にさらに注力し、「復興支援」の枠組みからのゆるやかな自立に向けた取り組みを進めていく。

事業報告

Ⅰ．　移動困難な住民の送迎支援活動　　《Ⅰの事業に要した費用》…30,378 千円

Ⅰ-1.【移動困難な住民の送迎】

【活動実績】

	2020年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月	合計	月平均	日平均
送迎人数	1,095	875	1,064	1,046	938	1,026	1,103	697	942	816	833	975	11,410	951	42
送迎回数	904	740	909	887	802	866	938	582	819	715	719	831	9,712	809	36
スタッフ数	214	202	203	206	189	199	207	137	188	184	180	207	2,316	193	8.5

《実施期間》

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日のうち、日曜、元日、研修、総会日等を除く毎日。
（年末年始、お盆、ゴールデンウィーク期間は一部透析送迎のみ。）

《実施内容》

- ◆ 送迎対象者…公共交通による移動が困難で、家族などが送迎できず、高額の交通費の支払いが経済的に困難な住民。
- ◆ 送迎範囲…石巻市・東松島市・女川町の住民。送迎の利用上限は基本的に週 2 回まで。
- ◆ 送迎形態…道路運送法上「登録を要さない」無償の範囲内として、送迎にかかる実費程度として、2km ごとに 100 円を『協力費』として利用者にお願いした。
- ◆ 利用希望者は『同意書』『申告書』を団体へ提出。団体は名簿登録して管理。
- ◆ 2017 年 1 月より、新たな送迎利用者との支え合いの会員制度『レラメイト』を開始している。
- ◆ 年間合計のべ 11,410 名、月平均 951 名の送迎を行った。
- ◆ 団体の中心的な活動であり、2020 年度も寄付金や補助金等の助けを受けて送迎を行うことができた。しかし、コロナ禍のため診察方法の変更等による通院回数の減少もあり送迎人数、回数とも前年を下回った。11 月には利用者さんに陽性者が発生したのに伴い 8 日間送迎を中止し、スタッフ、利用者、車両、事務所を含めた総合的な感染防止対策を強化し更なる安全な移動手段の提供に努めた。
- ◆ 車両 8 台（うち 6 台福祉車両）を使用しているが、平日の稼働台数は 5～6 台前後。コロナ禍にあっても必要な送迎ニーズは続いている状況。

Ⅰ-2.【付き添いつきお出かけ送迎】

- ◆ 送迎利用者を対象に「出かける目的がない」「一人では出かけられない」「一緒に行く相手がいない」等の理由で、通院等の最低限の外出しか行っていない利用者が、送迎と付き添いを行うことにより、買い物や娯楽の外出を楽しめることを目的としたものである。
- ◆ 5年目となる2020年度はコロナウイルス感染拡大の影響により4月から8月までは実施を見合わせた。
- ◆ 感染状況を見つつコロナ禍にあっても実行可能なプログラムを検討し9月以降再開した。
- ◆ 利用者の認知度も上がり、花見や温泉など心待ちにしていたプログラムが中止となり落胆する声も聞こえた。
- ◆ 例年県外ボランティア等の参加もあり活動の拡充を図ってきたが、今年度は通常送迎のスタッフで実施した。

《付き添いつきお出かけ送迎実施状況》

4月～8月	中止		
9月13日	お墓参り	利用者3名	スタッフ5名
10月25日	買い物（イトーヨーカ堂）	利用者7名	スタッフ7名
11月22日	買い物（イトーヨーカ堂）	利用者5名	スタッフ6名
12月27日	買い物（蛇田方面）	利用者11名	スタッフ10名
1月24日	買い物（イトーヨーカ堂）	利用者4名	スタッフ6名
2月28日	買い物（イトーヨーカ堂）	利用者4名	スタッフ7名
3月21日	お墓参り	利用者4名	スタッフ7名
	合計	**38名**	**48名**

Ⅰ-3.【ミニ生活支援】

◆ 暮らしの小さな困りごとに対応する「暮らしのお手伝い」を実施した。コロナ禍にあり室内作業は自粛し外作業を中心に実施した。

◆ 移動困難な状況の利用者の多くが、移動以外の暮らし全般にさまざまな困難を抱えている。特に、独居や高齢者のみの世帯で、ヘルパー等の手伝いを頼めない内容など、少しの手助けがあると生活がしやすくなる内容の手伝いを行った。

◆ 依頼内容は、「庭の草取り」「枝払い」「窓ふき」「お墓掃除」など。

◆ 「気になっていた事が片付いて安心した、助かった」等、多くの喜びの声を頂いた。

《暮らしのお手伝い実施状況》

4月	1件	10月3件
5月	3件	11月2件
6月	3件	12月4件
7月	5件	1月、2月はなし
8月	1件	3月1件
9月	4件	**合計27件**

Ⅰ-4.【生きがい・交流ミニ菜園『レラ農園』】

- ◆ 利用者の生活充実感向上やスタッフ・ボランティアとの交流のためのミニ菜園を実施。
- ◆ 石巻市渡波幸町（ワタママスマイル所有）の市民農園を今年度は面積を増して借り、レラのスタッフが中心となり、野菜や花、ハーブ等を植えた。通常の管理作業はスタッフが行った。コロナ禍もあり収穫期を中心に希望する利用者を畑に送迎し、農作業を共にした。
- ◆ もともと畑作業をしていたが、体調不良や被災等によりその機会を失ってしまった利用者、外出の機会が少なく土いじりに関心のある利用者などを対象とした。
- ◆ 利用者は無理のない範囲で（見ているだけでも可）農作業を楽しみ、その日に採れた野菜は持ち帰ることができる。

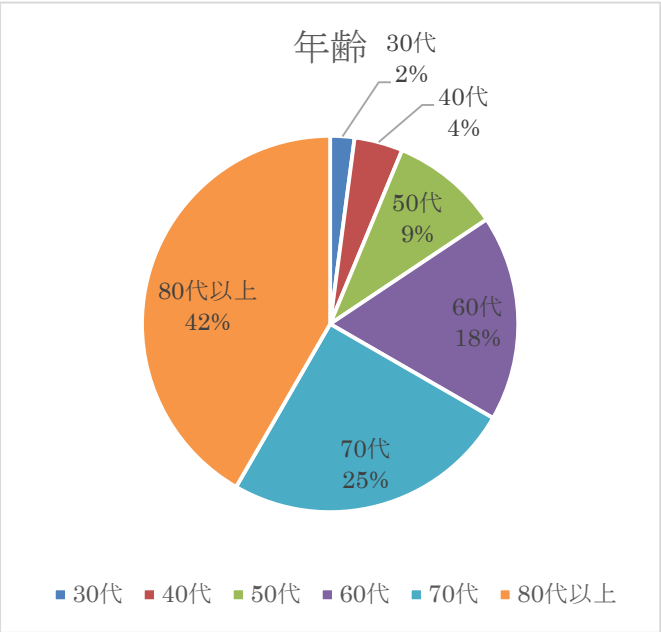
《レラ農園参加者数》

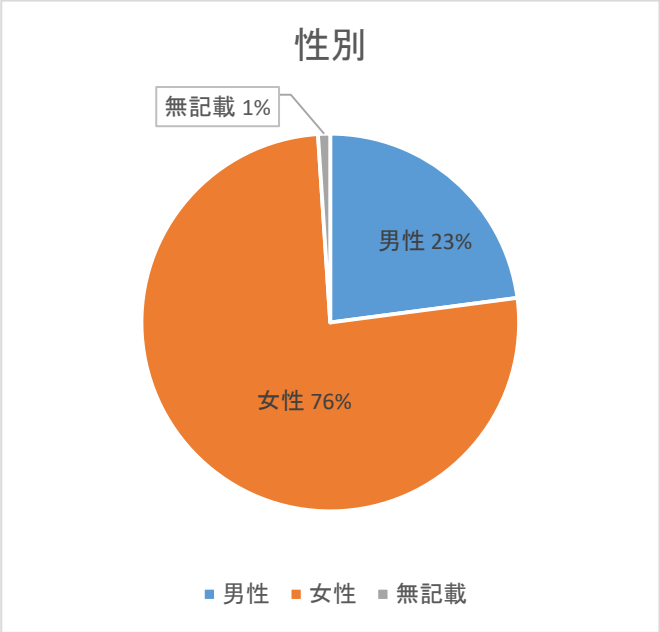
4 月	4 名
5 月	2 名
6 月	2 名
7 月	2 名
10 月	4 名
11 月	2 名
合計	**16 名**

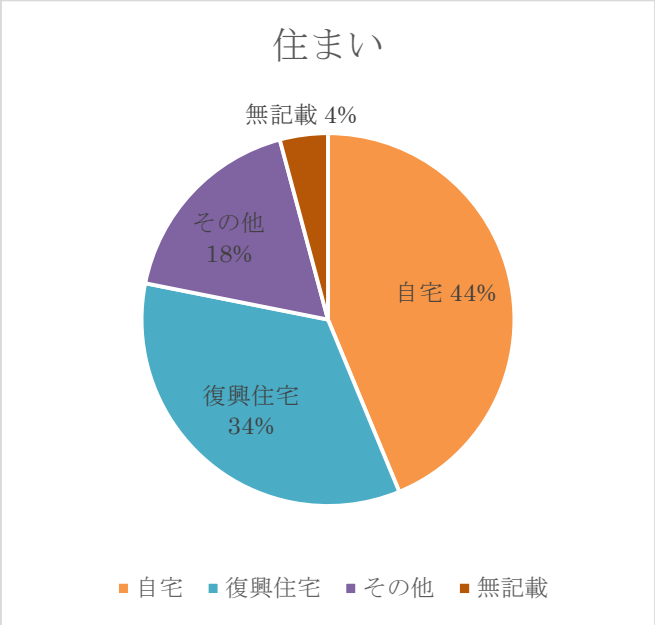
《生産品目-ミニトマト、枝豆、玉ねぎ、ブロッコリー、キャベツ
じゃがいも、さつまいも等≫

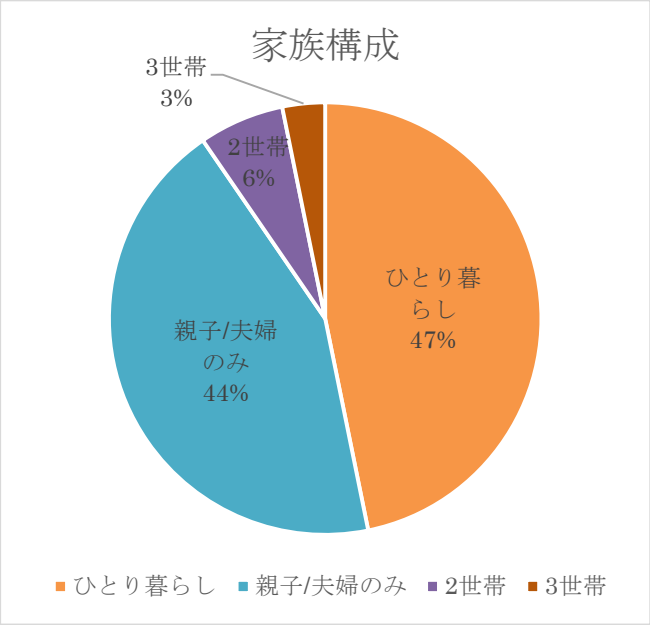
【利用者向けアンケートの実施】

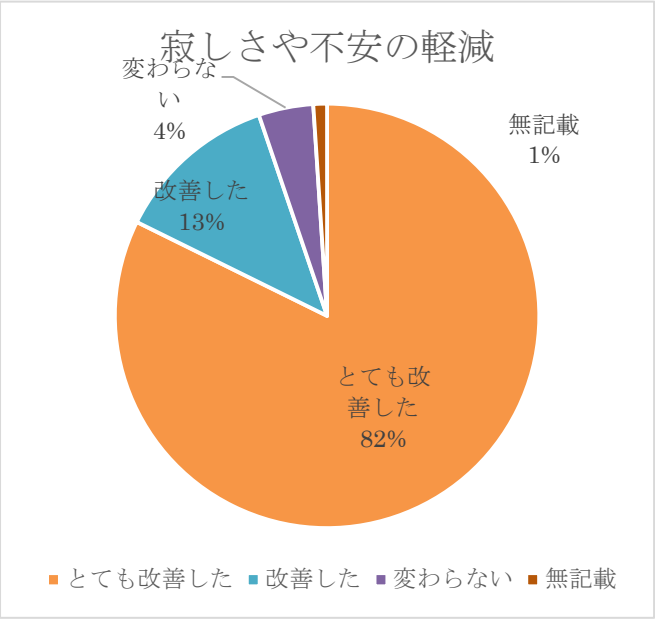
- ◆ 宮城県補助事業実施団体として利用者向けアンケート調査を実施した。
  対象者：移動支援 Rera 送迎利用者　　配布時期：2021 年 2 月　　回収：96 通
  配布方法：送迎時にドライバーから手渡し　　回収方法：ドライバーへの手渡し　または郵送
- ◆ 集計結果（一部抜粋）

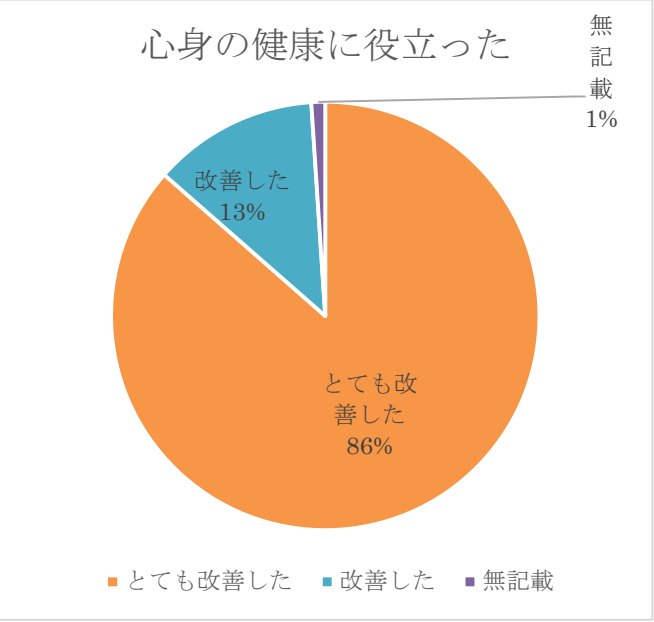

年齢
30代 2%
40代 4%
50代 9%
60代 18%
70代 25%
80代以上 42%
30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

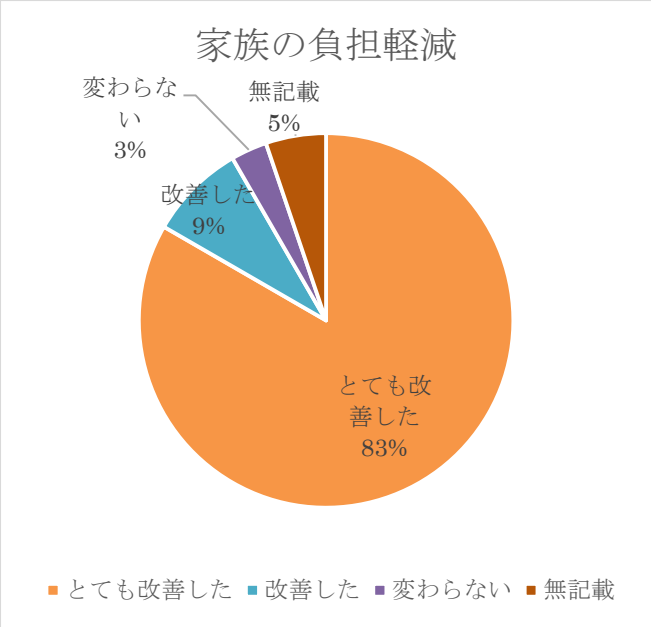

性別
無記載 1%
男性 23%
女性 76%
男性 女性 無記載

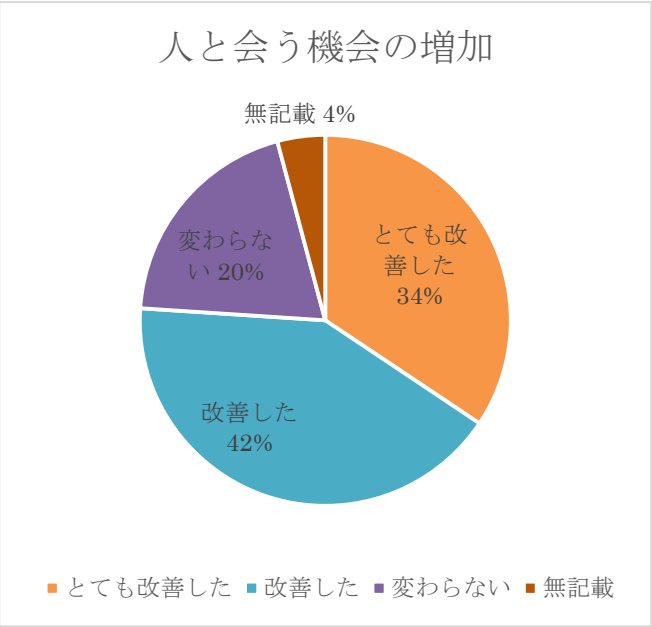

住まい
無記載 4%
その他 18%
自宅 44%
復興住宅 34%
自宅 復興住宅 その他 無記載


家族構成
3世帯 3%
2世帯 6%
ひとり暮らし 47%
親子/夫婦のみ 44%
ひとり暮らし 親子/夫婦のみ 2世帯 3世帯


寂しさや不安の軽減
変わらない 4%
無記載 1%
改善した 13%
とても改善した 82%
とても改善した 改善した 変わらない 無記載


心身の健康に役立った
無記載 1%
改善した 13%
とても改善した 86%
とても改善した 改善した 無記載





【自由記述】

「体調等を気遣ってくださり、とてもうれしいです。本当にありがとうございます。皆さんの気遣いに感謝しています。体調には気をつけてください。いつもありがとうございます。」

「レラのみなさんが大変親切で助かります。本当に心の支えになり安心です。」

「レラの送迎があるので通院することができます。長く続けてほしいです。」

「バス、電車で通える地域ではないので、家計的にも助かっています。これからも利用したいので、続けていってほしいです。」

「年金暮らしなので、レラがないと困ります。」

「協力金がこちらとしては嬉しい額ですが、申し訳なく思うことがあります。少し値上げしても良いのでは、雨の日や雪の日、目的地にがっちり着けてくれるので濡れずに入れます。ありがとう。これからも頑張って下さい。」

「コロナの状況にあって送迎して頂けるのは大変ありがたいです。感染予防に気をつけますので、これからもよろしくお願いします。」

「利用出来てとても助かっています。本当にこの支援が無くならない様にいつまでも続いていますようにお願いしたいです。」

「いつも病院や買物に送迎して頂きありがとうございます。これからも宜しくお願いします。」

「とても親切にして頂いています。車椅子なので本当にありがたいです。」

「足が悪いのでバス停まで行けないので玄関まできてくれるので助かっている。」

「二人生活で車をやめたので大変喜んでいます。」

「駅やバス停には遠く呼吸疾患に付、歩行困難の為通院に大変役立っています。今後ともお願いします。」

「家計が楽になった。運転してくれる人の気遣いに感謝！」

「友達ができ、家計が楽になった」

「1 人暮らしの為、誰とも話すことが無かったので、話し相手に」

「予約時間がきちっとしていて、車代が随分と助かっている」

「家計が楽になった。老いるという事は寂しい事です。」

Ⅱ.　福祉有償運送事業　　《Ⅱの事業に要した費用》…　　0 千円

◆ 2020 年度はコロナ禍の影響もあり送迎は道路運送法上「無償の範囲内」とされる実費以下の利用者負担による送迎として行い、福祉有償運送事業開始準備も滞ったことにより運営協議会の開催は実現出来なかった。

Ⅲ.　情報収集・調査・情報発信事業　《Ⅲの事業に要した費用》…　2,295 千円

Ⅲ-1.【福祉送迎講習会】

◆ 当初計画では移動支援の担い手育成、地域での助け合い送迎促進、地域の事業者やボランティアの送迎技術向上を目的とし、福祉車両等を使用した移動困難者の送迎や介助等を総合的に学ぶ国土交通大臣認定の運転協力者講習の開催を予定していたものの、コロナウイルス感染拡大に伴い今年度は開催を中止するに至った。

Ⅲ-2.【他団体向け送迎技術研修】

◆ 利用者の送迎を行う団体の実習受け入れを行った。

《送迎実技実習実施状況》

11 月 2 回、1 月 1 回、2 月 1 回、3 月 1 回

合計 5 回実施

Ⅲ-3.【宮城県石巻地域の移動困難者の実態調査・勉強会・伴走支援】

◆ トヨタモビリティ基金「地域に合った移動の仕組み作り」助成事業の一環として、2020 年度は実態調査の結果に基づき、専門家の協力のもと、地域に顕在化・潜在化している移動のニーズを整理し、必要な支援を分析するとともに、地域での勉強会を開催し、重点地域を石巻市山下地区・北上地区・桃生地区とし、地域内で住民による送迎実施の声が上がった場合には実施に向けた伴走支援を行う計画であったが、コロナ禍の影響もありいずれも開催に至らなかった。

Ⅲ-4.【公共交通利用促進のためのウェブサイト構築】

◆ バスや列車など公共交通の利用経験が少ない住民などを対象に、公共交通を活用した便利な生活を送ってもらうことを目的として、バス路線の情報提供ウェブサイトの更新を行った。

◆ これまでに引き続き、青い森ウェブ工房に委託しダイヤ改正に伴う路線情報や時刻表の更新を行った。

Ⅳ.　住民同士の交流・親睦事業　　《Ⅳの事業に要した費用》…　　0 千円

2020 年度は事業を行わなかった。

Ⅴ.　その他の事業　　《Vの事業に要した費用》…　800千円

【外部協力者と連携した組織基盤強化】

- ◆ 2020年度も組織づくりと運営を考える場として、月に一度のスタッフ研修を実施した。
- ◆ アドバイザーに地域社会デザイン・ラボの遠藤智栄氏、生涯発達支援塾TANE 主宰櫻井育子氏を招き実施した。
- ◆ 事業の役割分担、進捗確認、意見交換やアイディア出し、安全運転講習、課題解決に向けた話し合いなどを行った。
- ◆ 普段の送迎業務から離れて事業全体を考え、運営上の課題を共有する重要な役割を担っている。

Ⅵ.　運営に関する報告

移動支援Rera会員数

正会員　　14名
賛助会員　　66名

寄付・寄贈

- ◆ 2020年度受取寄付金　　4,120,360円（前年比 △13,824,113円）
- ◆ 2020年度寄付件数　　155件（前年比 △145件 ）

※寄付プロジェクト及び団体寄付者（順不同敬称略）

赤い羽根共同募金みやぎチャレンジプロジェクト
中高生によるチャリティームービープロジェクト－コロナに負けるな！ＮＰＯ支援－
フィッシュファミリー財団、　大阪はなみずきライオンズクラブ、　ＮＰＯ法人活きる
八方焼本舗小松屋、　ＮＰＯ法人仏教災害支援ネットワーク、　吉備継成会
真如苑、　Derrick＆ChizuWhite財団

この他、大変多くの個人の方よりのご寄付を賜りました。2020年度はコロナ禍にあり衛星用品が不足する中マスクや消毒液等活動に必要な物資等をお送り頂きました皆様方、日頃より私達の活動に対し深いご理解のもとでこのような多額の御寄付を賜りましたことに対し深く感謝の意を表します。誠にありがとうございました。

2021年3月31日
特定非営利活動法人　移動支援Ｒｅｒａ一同